

共育

い ち い



ふわりちゃん

日南町教育委員会
家庭教育支援員
R6.11月

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。長い2学期も後半になりました。お子さんはこの半年で様々な経験を通して大きくなったことでしょう。体調を整え、2学期、そして今年1年のまとめをしていきましょう！！



あらゆるトラブルの原因に！？ 子どものカサカサ肌にご注意を！
空気が乾燥し、肌荒れの気になる季節になってきました。
お子さまの肌の調子はいかがですか？

- 肌がカサカサしている
- ほっぺが赤い
- ポリポリかいている

実は、これらはどれも肌荒れの初期サイン！

カサカサ肌は、細胞同士の間ですき間があいた状態。

そこからホコリや汚れなどの刺激が入り込むと、ブツブツやかゆみ、赤みなどの肌トラブルを起こしてしまうのです。アレルギーの原因物質が入り込めば、アトピー性皮膚炎や食物アレルギーなどを発症する一因にもなります。毎日のケアで、乾燥知らずのすこやか肌を育てましょう。

お風呂の入り方 温度は38～40度

体を洗うポイントは… タオルや垢すりは肌を傷つけるので使わない
石鹸をよく泡立てて、手で洗う
刺激の少ない石鹸を使う
乾燥させない洗い方は…関節のしわを広げて洗う
石鹸を十分に洗い流す



しっかり保湿するには

- 保湿剤をたっぷり使う
- ワセリンや軟膏などの油分の多いものほど保湿性が高い
- かゆみやかさつきがひどければ1日2回はケアをする
- 目や口の周りも塗る

いちい応援隊の活動報告



8/3ウォーキングサッカー

元なでしこジャパン大部由美さんと歩いて行うサッカーを楽しみました。



9/1親子で対話型鑑賞

日南町美術館のクレパス展で対話型鑑賞体験！！



「みんなとの会話から広がる世界が心地よく、楽しい時間でした。」



10/8小学3年生 メディアとの上手なつきあい方

日南町では小学4年生からスマホを持つ子が増えるそうです。そこで小学3年親子でメディアとの上手なつきあい方を講師さんから学びました。
こども未来ネットワーク 竺原晶子さん



9/20 P T A 人権研修講演会家庭教育講演会

『自分も相手も大切に』



コミュニケーションの達人稲田尚久先生！自身の失敗経験や事例を面白おかしく伝えてくださいました。保護者の皆様にはアンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果に対する稲田先生の回答と講演会の様子をご報告をさせていただきます。

事前アンケート お子さんとの関りで困っていることや、聞きたいことは何ですか？

- 1位 やる気を引き出す声掛け
- 2位 ほめ方 叱り方
- 3位 兄弟や友だちとのトラブルの時の親の関わり方
- 4位 自己肯定感を下げるNGワード

稲田先生アドバイス

- ・ 自分子どもでも、親はコントロールはできない。
- ・ 子どもの問題と親の問題を一緒にしない
- ・ やる気を潰さないことが大事！！やる気を引き出すことより
- ・ やる気を引き出そうとすれば、子どもは反発する。（心理的リアクタンス「抵抗・反発」を意味し「自由を制限されると、それに抗おうとする性質」）
- ・ 今だからこそ出来ることを、今しかできないことを親子で楽しんでください。



参加保護者さんの感想



- ・ 期待や理想を押し付けて子どもにイライラしていることがよくわかりました。
- ・ 生きているだけでありがたい。
- ・ 子どもの将来を心配してあれこれ言いたくなるけど、それを本当に子どもが望んでいるのか、子どもとの今を大事にしたいと思いました。
- ・ やる気を潰さない。
- ・ 変えるのは、自分と未来ほめる時も叱る時も具体的に。色々勉強になりました。
- ・ 一人一人が違う価値観があることを常に頭において尊重し合えることが大切



叱るのもほめるのも、全てが親の愛情ですね。少し見方を変えてかけがえのない親子時間を楽しんでください。

稲田先生の本「信じて支えるやりすぎない子育て」が小学校図書室と日南町図書館で借りられます。